

3.11 オモイデアーカイブ カフェ

7年間、震災アーカイブを使い
わかってきたコト



2018年3月11日(日) 10:00 ~ 17:30

仙台市市民活動サポートセンター地下シアター (仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

3.11 オモイデアーカイブでは、震災後、3月11日以前・以後のまちと人に目を向け、過去と現在を結び直す活動を進めてきました。震災後の市民生活を写真とヒアリングで記録した「3.11 のキヲクをキロク」、昭和時代の写真をもとに思い出を語りながら地域間・世代間交流を深める「3.11 オモイデアーツアー」、まちの変化を伝える「3.11 定点撮影プロジェクト」。そのいずれもが、記憶を育てながら、だれもが“土地の知”を深く共有できるプログラムです。

東日本大震災から8年目を迎える3月11日。これまでの7年間の震災アーカイブ活動を振り返り、発災から10年に向け、今後取り組むべき市民活動のテーマについて考える場にしたいと思います。お気軽にご参加ください。

企画・主催 3.11 オモイデアーカイブ <http://sendai-city.net/>

入場無料・申込不要・出入自由

1 Lecture 10:00 ~ 11:20

かつて仙台を襲った災害が教えるコト (講師/木村 浩二さん)



2 workshop 11:30 ~ 12:20

Yes? No? あなたならどちらを選ぶ (講師/太田 千尋さん)

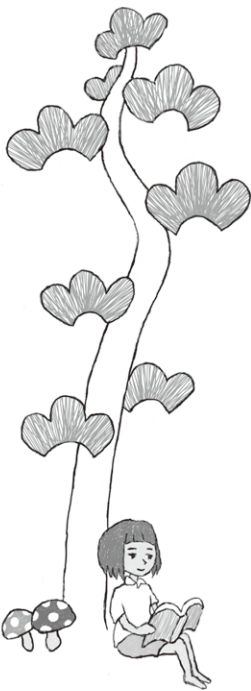


3 Talk 12:30 ~ 14:00

3.11 を定点で撮影するコトで見えてくるもの (進行/中村 佳史さん)

4 Song 14:10 ~ 14:30

願い、祈る、うた (歌/なかのやひとしさん)



5 Silent prayer 14:46 ~

黙 禱 (3分20秒)



6 Talk 15:00 ~ 16:10

3.11 のキヲクをキロクしたあの日のコトと現在 (進行/片岡 理恵さん)

7 Talk 16:20 ~ 17:30

5年間のツアーで変化したコトとしないコト (進行/中村 佳史さん)

3.11 オモイデアーカイブ

「3.11 からはじまる、まちと人のオモイデをキロクするというアーカイブ」

2011年3月11日の発災直後から資料の収集を始めた NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台を前身とし、震災から 5 年目となる 2016 年に震災アーカイブ部門を独立させ、「3.11 オモイデアーカイブ」と名称を改めて市民団体を設立。

津波被災した仙台市内の沿岸地域をめぐる交流を図る「3.11 オモイデツアー」の実施や、震災前と今、震災直後と今を定点で撮影する「3.11 定点撮影プロジェクト」など、「まちと人のオモイデを記録する」活動を市民協働で進めるためのプラットフォーム的な役割を担っています。

「3.11 キヲクのキロク」、「3.11 キヲクのキロク、そしてイマ。」(2012 年、2013 年発行/ NPO20 世紀アーカイブ仙台)、「オモイデピース」(2014 年発行/オモイデピース)、「3.11 オモイデアーカイブ」(2017 年発行/ 3.11 オモイデアーカイブ) などを手がけ、地域の記録と震災の記録を残し伝える活動を行っています。